

令和元年度第2回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

- 日時 令和元年10月4日(金) 14時00分～16時00分
- 場所 人吉スポーツパレス横 東側プレハブ 2F会議室
- 出席者 ビジョン懇談会委員 18名/24名中の出席

| | 市町村名 | 団体名(所属) | 役職名 | 氏名(フリガナ) | |
|----|-------|---------------------|--------------|----------|----|
| 1 | 人吉市 | 熊本県立大学総合管理学部 | 教授 | 井田 貴志 | 出席 |
| 2 | | 人吉市医師会 | 会長 | 岐部 明廣 | 出席 |
| 3 | | 人吉温泉観光協会 | 副代表理事 | 川野 精一 | 出席 |
| 4 | | 球磨焼酎酒造組合 | 理事 | 下田 文仁 | 出席 |
| 5 | | 人吉商工会議所 | 専務理事 | 今村 修 | 出席 |
| 6 | | くま川鉄道株式会社 | 取締役社長 | 永江 友二 | 出席 |
| 7 | 錦町 | 球磨地域農業協同組合下球磨営農センター | 営農企画課長兼錦茶工場長 | 川邊 倉光 | 欠席 |
| 8 | | 錦町農業委員会 | 会長職務代理者 | 福本 王雅 | 欠席 |
| 9 | 多良木町 | 球磨郡公立多良木病院企業団 | 事務長 | 小谷 節雄 | 出席 |
| 10 | | 多良木町文化協会 | 会長 | 竹原 篤子 | 欠席 |
| 11 | 湯前町 | 湯前町区長会 | 会長 | 柳瀬 鐵男 | 欠席 |
| 12 | | 湯前町文化財保護委員会 | 委員長 | 溝下 昌美 | 出席 |
| 13 | 水上村 | 水上村中学校PTA連絡協議会 | | 杉野 久志 | 出席 |
| 14 | | 水上村社会福祉協議会 | 福祉活動専門員 | 堤 祐子 | 欠席 |
| 15 | 相良村 | 相良村商工会 | 青年部長 | 牧野 耕丈 | 欠席 |
| 16 | | 相良村有害鳥獣捕獲隊 | 隊長 | 森松 栄 | 出席 |
| 17 | 五木村 | 株式会社 子守唄の里五木 | 取締役 | 樫木 晴美 | 出席 |
| 18 | | 五木村観光協会 | 事務局長 | 山下 健二 | 出席 |
| 19 | 山江村 | NPO法人かチャリンクやまえ | 専務理事 | 本山 民子 | 出席 |
| 20 | | 山江村民生委員児童委員協議会 | 会長 | 中村 征生 | 出席 |
| 21 | 球磨村 | 球磨村森林組合 | 参事 | 蔀 初美 | 出席 |
| 22 | | 球磨村教育委員会 | 教育委員 | 中井 久美 | 出席 |
| 23 | あさぎり町 | あさぎり町深田校区婦人会 | 会長 | 白柿 悦子 | 出席 |
| 24 | | 人吉球磨地域女性農業委員ネットワーク | 会長 | 宮原 久子 | 出席 |

| 【幹事会】 | | | | | |
|---------------------|--------------------------------------|------------|----------------------------|------------------|--------|
| 市町村名 | 課名 | 職名 | 氏名 | | |
| 錦町 | 企画観光課 | 課長 | 深水 英雄 | | |
| 多良木町 | 総務課 | 課長 | 前田 和博 | | |
| 湯前町 | 企画観光課 | 課長 | 本山 りか | | |
| 水上村 | 総務課 | 課長 | 田代 浩章 | | |
| 相良村 | 総務課 | 課長 | 川邊 俊二 (代理出席 係長 椎葉 百城) | | |
| 五木村 | 総務課 | 課長 | 森田 広信 (代理出席 課長補佐 倉永 敬三) | | |
| 山江村 | 総務課 | 課長 | 白川 俊博 | | |
| 球磨村 | 企画振興課 | 課長 | 高永 幸夫 | | |
| あさぎり町 | 企画財政課 | 課長 | 片山 守 (代理出席 主事 神崎 大和) | | |
| 【オブザーバー】 | | | | | |
| 熊本県南広域本部 球磨地域振興局 | 総務振興課 | 主幹 | 中村 潤 | | |
| | | 参事 | 坂本 有以 | | |
| 【部会事務局】 | | | | | |
| 部会名 | 検討母体 | 事務局 市町村 | 担当課 | 役職 | 氏名 |
| 救急医療部会 | 救急医療、健診、発達相談部会は合同協議。球磨圏域保健衛生協議会取りまとめ | 錦町 | 健康保険課 | 課長 | 小林 由比 |
| 健診部会 | 球磨圏域保健衛生協議会 | | | | |
| 発達相談部会 | 球磨圏域乳幼児発達相談事業運営協議会 | | | | |
| 障がい者(児)部会 | 人吉球磨障がい者総合支援協議会 | 人吉市 | 福祉課 | 課長補佐 (兼係長) | 大柿 伸子 |
| 文化部会 | 球磨地域文化財広域連携協議会 | 人吉市 | 歴史文化課 | 課長補佐 (兼係長) | 迫田 洋子 |
| 農業部会 | くま農業活性化協議会 | あさぎり町 | 農林振興課 | 課長補佐 | 万江 幸一郎 |
| 観光部会 | 市町村企画・観光担当者会議 | 人吉市 | 観光振興課 | 係長 | 松永 陽一 |
| 企業誘致部会 | 人吉球磨企業誘致連絡協議会 | あさぎり町 | 商工観光課 | 主幹 | 林田 考功 |
| | | 人吉市 | 商工振興課 | 係長 | 高田 尚志 |
| 鳥害獣対策部会 | 球磨地方公有林経営協議会 | あさぎり町 | 農林振興課 | 参事 | 田山 勇一 |
| 消費生活部会 | 人吉球磨生活支援ネットワーク | 人吉市 | 市民課 (消費生活センター) | 課長補佐 (センター次長) | 松下 敏朗 |
| 環境部会 | 人吉球磨地域レジ袋削減推進協議会 | 湯前町 | 保健福祉課 | 参事 | 山口 真子 |
| 地域公共交通部会 | 人吉球磨地域公共交通担当課長会 | 人吉市 | 企画課 | 主幹 | 舟戸 章吾 |
| スマートインターチェンジ部会 | 人吉球磨スマートインターチェンジ整備促進協議会運営委員会 | 人吉市 | 都市計画課 | 主幹 | 豊田 泰彦 |
| 人材育成部会 | 人吉球磨総務担当課長会 | 人吉市 | 総務課 | 課長 | 小澤 洋之 |
| 林業部会 | | 人吉市 | 農林整備課 | 課長補佐 (兼係長) | 福永 卓也 |
| 【事務局】 | | | | | |
| 人吉球磨定住自立圏推進協議会事務局 | | 人吉市 | 企画政策部 | 部長 | 早田 吉秀 |
| | | | 企画政策部企画課 | 課長 | 淵上 聖也 |
| | | | 企画政策部企画課 | 課長補佐 (兼係長) | 上村 英明 |
| | | | 企画政策部企画課 | 主任 | 丸山 佳子 |

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 人吉市長あいさつ
- 3 委員、オブザーバー、事務局紹介
- 4 会長あいさつ
- 5 議事
 - (1) 第2次人吉球磨定住自立圏共生ビジョン（案）について
- 6 その他
- 7 閉会

■ 議事内容

| | |
|----------------|---|
| 事務局 | <p>議事（1） 第2次人吉球磨定住自立圏共生ビジョン（案）について</p> <p>①資料1、資料2に基づき事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次人吉球磨定住自立圏共生ビジョン（案）の全般的構成、第1次人吉球磨定住自立圏共生ビジョンからの変更点 <p>（主な説明内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次ビジョンの個別事業(具体的な取組)46事業に対し、第2次ビジョンは整理統合を行い19事業としている。内訳は46事業のうち継続事業が37事業、継続しない事業が9事業で約8割が第2次ビジョン継続の状況。 ・第2次共生ビジョンの期間は、令和2～6年度の5年間 ・「圏域の人口」と「高齢化率」（資料1のP14,15）について、2030年を追加 ・部会名の一部を変更 企業誘致部会→しごと創生部会 |
| 会長 | <p>引き続き、各部会から第2次共生ビジョン(案)の個別事業案について説明をいただきたい。なお、消費生活部会、農業部会については急遽欠席のため事務局から説明の上、委員質疑については後日回答とさせていただきたい。また、それぞれの部会説明ごとに委員質疑をとる形で進めることとしたい。</p> |
| 救急医療・健診・発達相談部会 | <p>②各部会担当者から第2次共生ビジョン案の個別事業について、資料1、資料2に基づき説明</p> <p>（救急医療・健診・発達相談部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次ビジョン「取組事項（2）住民の健康増進」を第2次ビジョン案では計上をしていない。その理由としては、第1次共生ビジョンで計上していた健康管理システム等の圏域統合に関しては、各市町村のシステムを統一しなければ実現できない事業であり、費用対効果から実現が難しい状況にある。今後、同様の事業が国策として展開される見込みであることから、2次ビジョンへの計上は行っていない。 ・第1次ビジョン「休日在宅当番医制運営事業」「病院群輪番制運営事業」「小児 |

| | |
|---------------|--|
| | <p>科休日在宅当番医制運営事業」を整理統合し第2次ビジョンでは「救急医療体制充実化事業」として計上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次ビジョン「医療従事者育成支援事業」も引き続き計上。支援を継続していく。 ・第1次ビジョン「産科・小児科医療体制維持検討・支援事業」は、2次ビジョン当初においては計上を見送ることとし、産科・小児科に関わらず医師不足、働き方改革等に対応すべく検討会を郡市医師会、人吉医療センター、公立多良木病院合同で今年度中に開催し、具体的な事業方向性が決まった時点で定住自立圏事業として計上を行う予定である（後年度事業計上見込事業）。 ・第1次ビジョン「発達小児科医の圏域医療機関での確保」「発達支援専門職確保事業」については、整理統合し、2次ビジョン案では「発達小児科外来診療体制の充実及び発達支援専門職の確保」事業として1本化し計上を行っている。 ・資料1 P21：成果指標（診療実施回数）の目標値について、現在月1回開催を月2回開催にするところで目標値設定。 ・第1次ビジョン「球磨圏域乳幼児発達相談事業運営協議会事業」は、今後の事業継続について不透明な部分があるため第2次ビジョン案への計上は見送っている。 |
| 会長 | 救急医療部会、発達相談部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |
| 各委員 | （意見なし） |
| 障がい者 （児）部会 | <p>（障がい者（児）部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次ビジョンで計上していた4事業を整理統合し、成人へ向けて事業と子供へ向けての事業とに分けて計上したほか、新規事業を1本計上している。 ・第1次ビジョン「人吉球磨障害者相談支援事業」「人吉球磨地域障害者地域活動支援センター事業」「人吉球磨地域障害者手話奉仕員養成研修事業」は整理統合し、第2次ビジョン案では大人を対象とした事業として「障がい者相談・支援事業」として計上。 ・第1次ビジョン「人吉球磨圏域地域療育センター事業」は、主に子供を対象とした事業として第2次ビジョンでは「障がい児療育支援事業」として計上。 ・新規事業「障がい者（児）地域生活支援拠点整備事業」は、国が方針を示している地域生活支援拠点整備を、圏域で令和2年5月までに拠点整備をし、その後、基幹支援センター設置へ向けて検討を行う予定である。事業費については現在検討中である。 |
| 会長 | ただいま説明のあった障がい者(児)部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |

| | |
|---------------|--|
| 樫木委員 | 人吉球磨管内に児童相談所はないということであるが、今後取組みの予定はあるのか。 |
| 障がい者 (児)部会 | 児童相談所の圏域内設置については今のところ予定はない。 |
| 樫木委員 | であれば、先ほどの地域生活支援拠点整備に児童相談所的な要素も入ってくるのかどうかお尋ねしたい。 |
| 障がい者 (児)部会 | 地域生活支援拠点整備の内容が、今 8050 問題と言われているが、親なき後に障がいをもつ方が地域の中でスムーズに生きることができるように地域で支えようというもの。行政だけでなく各福祉事業所が連携しあって障がいの方の生活を支援していくというものである。圏域内のどの場所でも平等にサービスを受けることができるように、現時点では 2 拠点を整備する予定。八代の児童相談所と連携をとりながら進めて行くという形である。 |
| 会長 | 新たな地域生活支援拠点整備については、児童相談所的な役割は担わないという解釈でよいのか？ |
| 障がい者 (児)部会 | 児童相談所的な役割というよりは、児童相談所と連携をしていくという形となる。 |
| 宮原委員 | 「障がい者相談・支援事業」について、障がいの軽い方へ向けての自立支援のための就労施設の各市町村の把握はできているのか。 |
| 障がい者 (児)部会 | 圏域内の就労支援施設の把握は行っている。 |
| 文化部会 | <p>(文化部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名を一部変更し“活用”という文言を追加している。文化遺産の保全保護の重要性とともに、その活用について観光部局との連携強化を行っていく意味で名称変更を行った。 ・事業概要欄(資料 1 P27)に、観光素材としての磨き上げと観光部門との連携、次世代を担う青少年への人材育成を追加し、成果指標 KPI については、観光面、人材育成面、保護面についてそれぞれ指標設定を行った。事業費は、各自治体の歴史文化遺産の保全経費についても計上を行った。 |
| 会長 | ただいま説明のあった文化部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |
| 会長 | 文化財保護活用事業は文化財担当課で今後も担当していくのか。 |
| 文化部会 | 記載内容に関してはその予定である。 |

| | |
|-------------|---|
| <p>会長</p> | <p>成果指標 KPI（国宝青井阿蘇神社年間来訪者数）については、歴史遺産を観光資源として活用するという目的を満たす成果指標とはなっていない。単に青井阿蘇神社の入場者数を示すだけの内容であり KPI とは言えない。文化と観光の所管課が異なる現状においては、本事業を文化財保存が中心の文化課が担当する状況であるならば、保存事業に集中した内容としたほうが良い。人吉球磨の観光施策はDMO設立へ向けて動いている状況であるのでそれを踏まえ、観光面の利活用については観光課にまかせないとオーバーフローする。部会から説明があったが、活用については関係部署と連携をとる形でうまく進めていただきたい。</p> |
| <p>観光部会</p> | <p>（観光部会）</p> <p>2事業についていずれも事業名、事業内容を変更して計上している。「観光地域づくり推進事業」は、1次ビジョンでは旬夏秋冬キャンペーン事業として、内容は相良三十三観音イベント、お雛祭りイベント、球磨川温泉郷イベントの3つに限定して計上していたが、平成29年度末に発足した人吉球磨観光地域づくり協議会を中心とした事業内容へ見直しを行い、広域観光事業に関しては幅広く計上できる形に見直しを行った。成果指標（KPI）は「宿泊客数」とし、今後、観光地域づくり協議会がDMO体制へ移行していく中で、観光消費額、満足度調査等の数字が拾える状況になれば、KPIを増やしていく予定。事業費については、観光地域づくり協議会事業費があがってくることになるが、現在調整中であるため、従前事業に関する分のみを計上している。</p> <p>「サイクルツーリズム推進事業」は、1次ビジョンでは、湯前人吉自転車道に関する事業のみを計上している形であったが、人吉球磨サイクルツーリズム推進協議会が発足し、広域的な自転車道整備をこの協議会において実施していくため、この事業を中心とした内容に見直しを行っている。ソフト事業だけでなくハード事業についても包括的に協議会にて取り組んでいく。成果指標は、人吉球磨地域自転車ネットワーク計画を昨年度策定しており総延長200kmの計画となるため、まずは国県道の整備、その後市町村道の整備を行っていく予定としている。市町村道の整備延長が約82kmであるので、道路関係国庫補助金内示率などを勘案し、成果指標目標値を45kmと設定。圏域外からのサイクルイベント数目標値については、圏域内の様々なサイクルイベントの状況から設定している。事業費については、現状で計上しているが、今後決まり次第、ハード整備経費についても計上を予定している。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ただいま説明のあった観光部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>資料1：P28記載について、「千年圏域」の意味を教えてください。あまりなじみのない言葉である。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| 観光部会 | 明治期までが相良700年に対し、その後も発展していくという趣旨の「千年」という意味合いで用いている。 |
| 委員 | 将来も含めてという意味なのか、もう少し検討いただければと思う。 |
| 鳥獣害対策部会 | (鳥獣害部会) 事業名の一部変更と、成果指標を捕獲総数へ変更を行っている。1次ビジョンにおける成果指標は防護柵設置延長としていたが、取組が進まなかった市町村もあったため、2次ビジョンでは有害鳥獣捕獲における捕獲総数としている。事業費は捕獲報酬費を計上。 |
| 会長 | ただいま説明のあった鳥獣害対策部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |
| 各委員 | (意見なし) |
| しごと創生部会(企業誘致部会) | (しごと創生部会(1次ビジョン:企業誘致部会)) 2次ビジョン案は大幅に事業内容を見直しのうえ計上している。1次ビジョンでは工業団地や空き家施設の活用を主としていたが、近年の企業誘致活動において企業から聞かれることは「人材はいるか。雇用は可能か」ということ。企業側が地方進出するうえでのネックは人材確保である。そういった状況から、人と仕事、雇用を作り出す必要性を強く感じており、2次ビジョン案においては企業誘致のみならず、多方面からのアプローチにより仕事、雇用を生み出す取組みができるように事業内容の見直しを行っている。 |
| 会長 | ただいま説明のあったしごと創生部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |
| 今村委員 | 人手不足、後継者不足が深刻であり、地域全体で手を打っていく必要がある。このことについてどのように考えているか。 |
| しごと創生部会(企業誘致部会) | 委員ご指摘のとおりであり、昨年度人吉市が立ち上げられたヒットビズにおいては球磨郡の利用も全体の13%程度、圏域外からの相談もあっておりかなり相談件数があがっている。起業、創業、事業継承に関する相談、経営面の相談、アドバイスも多いようであり、そういったところも含め、圏域上げて商業関係に寄与できる取組みができればと考えている。 |
| 今村委員 | 働き手を確保する、若い人たちに地域に残ってほしいところであり、雇用創出 |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>ではなく、雇用対策、若い人たちが地元に残ってもらうための手立てが必要ではないかと思う。このことについてはどのように考えているか。</p> |
| しごと創生部会（企業誘致部会） | <p>現在ある企業は製造業などであるが、若い人達は製造業には就かないという状況を感じている。若い人たちが魅力を感じる職種は事務職、IT関係であり、そういった職種を増やしていくことが必要と考える。</p> |
| 会長 | <p>人吉球磨圏域内の高校生の就職先を圏域内か、圏域外なのか、どこに就職しているのか、データ分析をすることが必要。高校生が就職先を決める際、当然親の意向も強く働くわけであり、どういう条件がある企業なら本人、親とも意向を示すのかデータ分析していかないとわからない。同じ都会でも賃金が高いだけでなく、寮があるところであるとか、生の声をストックしていかないと、基礎的データがない状況で施策はうてない。</p> |
| 永江委員 | <p>今までは大きい会社の誘致であったり、ショッピングセンターの誘致であったりというイメージであったが、先ほど意見があったように後継者不足が深刻であり、小さな会社に対してよその企業をマッチングさせるような、せつかく小さくても技術があるのだから途絶えさせないように、そういった政策というのとはどのように考えているのか。</p> |
| しごと創生部会（企業誘致部会） | <p>まだ、その部分について手が届いていない状況にあるが、20年もしないうちに零細企業、中小企業がなくなるという報道もあっているので、そこへ向けての支援も注力していく必要がある。</p> |
| 地域公共交通部会 | <p>（地域公共交通部会） 事業を整理統合し、1次ビジョンにおける取組事項5事業を「人吉球磨公共交通活性化事業」として1本化し2次ビジョン案として計上を行っている。圏域で構成する人吉球磨公共交通活性化協議会を中心に、圏域をつなぐ鉄道、幹線バスと各市町村の支線バスを連携させる交通体系づくりを進めることとしている。</p> |
| 会長 | <p>ただいま説明のあった地域公共交通部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。</p> |
| 岐部委員 | <p>事業費が大きいですが、事業費のどれくらいの割合に対し定住自立圏事業の補助がでているのか。それが資料にでていと分かりやすいのだが。</p> |

| | |
|----------|---|
| 事務局 | 定住自立圏に措置される補助（特別交付税）は、各事業費から別途補助のある経費を除いた残額について各市町村が積み上げた額を申請し措置される。地域公共交通の人吉市分に当てはめた場合、約 2300 万円が定住自立圏枠で申請している状況である。約 26%。 |
| 岐部委員 | 定住自立圏共生ビジョンは単年度でどのくらいの予算になるのか。 |
| 事務局 | 人吉市の H30 年度の状況であると、約 7,600 万円（申請額）。ただし、定住自立圏枠には上限額あり、中心市で 8,500 万円、近隣町村は 1,500 万円という上限額になる。共生ビジョンに掲載している事業費は総事業費となるため、別枠の国県補助金や国県交付金もあたることになる。 |
| 岐部委員 | 市町村の持ち出し分に定住自立圏枠の補助があたるという理解でよいか。 |
| 事務局 | その通りである。 |
| 会長 | それぞれの事業で国県補助などが入る状況にあり、個別事業ごとに算定をしなければ定住自立圏枠の特別交付税がいくら措置されているかは見えない状況にある。現在お示ししているビジョン案の事業費は総事業費になる。 |
| 永江委員 | くまがわ鉄道の沿線を横軸で見た場合、鉄道、国道、県道とあり、鉄道とバスが並行して走っている。くまがわ鉄道とバスの発着時間の連携ができていない状況であり非合理的だと思うが、人吉球磨地域活性化協議会の中ではそれが議論されない状況なのでそこについての議論を深めて欲しいところ。また、同協議会は首長はじめ多くの方が参加される状況にあり、発言がしにくい。この辺りも会議事務局サイドで調整いただくことで、事業費を圧縮できるような合理的な議論ができるのではと思う。いつまでくまがわ鉄道は続けるのか、20 年後、30 年後を鉄道がどうあってほしいのか、大きな視点で先を見据えた施策を議論していただけないか。今必要だから鉄道を維持する経費を自治体は出す、鉄道会社側はそれを受けて維持する、というだけでは無意味な感がある。 |
| 地域公共交通部会 | ご提言につきまして、協議会のほうで検討をさせていただきたい。 |
| 会長 | 委員が意見されたように、鉄道やバス、せめて公共交通の接続調整はやらないと観光地にはならない。先のビジョンをもって施策を進めていただきたい。 |

| | |
|----------|--|
| 地域公共交通部会 | 昨日、人吉球磨地域活性化協議会担当者会議のなかで、永江委員ご指摘の鉄道とバス連携については強く話をさせていただいた。公共交通の圏域施策として、いかに幹線と枝線を結び付けていくかが費用面も含め課題であるため、今後も検討を重ね、少しでも連結がしやすい形としていきたい。 |
| 人材育成部会 | <p>(人材育成部会)</p> <p>1次ビジョン4事業のうち、3事業を継続し、「職員人事交流事業」については2次ビジョン案では削除としている。理由としては、1次ビジョンでは、スマートインター事業、観光地域づくり事業への派遣を具体的な取組として掲げており、スマートインターチェンジ整備については事業完了、観光地域づくり事業については、本年度DMO設立へ向けて進んでいる状況にあり、市町村間における当該事業の人事交流については一定の目途が立っている。現時点の2次ビジョン案では具体的な計画がない状況であることから2次ビジョン計上は見送ることとしている。ただし、今後、具体的施策に応じて取り組んでいく。継続をする合同職員研修開催事業については相互補完できる研修の充実を図り、外部専門的人材等活用事業については地域おこし協力隊の活用を掲げている。活用数は現在、1人～6人と自治体で活用人数に差が大きい。圏域発展のために外部人材の活用は重要であるところであるが、事業費はほぼ人件費になり、また、来年度から全国的に職員の任用制度変更があることも踏まえ（現在：非常勤職員→今後：会計年度任用職員）人件費の増加が予想されている。そういった現実的な予算面の状況もあるため、目標値については圏域で20人という値としている。国県等との人事交流事業については、国県等との人事交流を活発に行うことで人材の有効活用、国県等との連携強化につながるため、2次ビジョンにおいても継続して取り組んでいきたいと考える。</p> |
| 会長 | ただいま説明のあった人材育成部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |
| 川野委員 | 地域おこし協力隊について、都市部から圏域へ引き込む場合のマッチング対策についておたずねをしたい。 |
| 人材育成部会 | 地域おこし協力隊の募集については、まずは地域で起業創業をしていただける方を念頭において募集をかけている状況。なるべく長く地域に根差していただける方、という視点で採用をしている。 |
| 川野委員 | どこに向けて募集をされるのか。 |
| 人材育成部 | 基本的にホームページで募集をかける形をとっている。総務省が共通サイトを |

| | |
|----------------|--|
| 会 | たちあげており、そこでの募集も行う。 |
| 環境部会 | <p>(環境部会)</p> <p>2次ビジョン案においては、1次ビジョンにおける「人吉球磨地域レジ袋削減推進協議会運営事業」は計上をしていない。理由としては、国によるレジ袋有料化の法制度化が見込まれる状況にあり、有料化にレジ袋削減、エコバック持参が進み、一定の目的は達成見込みとなる状況にあることから計上を見送っている。2次ビジョンにおける環境対策事業として、レジ袋を含むプラスチック製容器包装のリサイクル化への取組みが計上可能性としてあるが、現時点では圏域での事業方向性が十分ではないため見送っている。</p> |
| 会長 | ただいま説明のあった環境部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |
| 会長 | 環境対策に関してはいくらでも計上できる事業があると思うが、最近 SDGs の取組みを自治体施策には組み込むよう国も推進している。しかしながら当事者である環境部門の事業が何もないと、SDGs の取組みも進めづらい。人吉球磨には川があり、山があり、公の施設での二酸化炭素排出量というものもある。様々な環境対策をあげることができるのでは。レジ袋削減事業にこだわらず、計画途中でもよいので事業追加を検討いただきたい。 |
| スマートインターチェンジ部会 | <p>(スマートインターチェンジ部会)</p> <p>人吉球磨スマートインターチェンジ整備については、今年度供用開始に至り、事業完了となったため2次ビジョン案への計上は行っていない。</p> |
| 林業部会 | <p>(林業部会)</p> <p>林業部会に関しては2次ビジョン案は見送りとしている。人吉市の取組みに関してではあるが、スマート林業については球磨中央地区林業活性化協議会という、人吉市、錦町、あさぎり町、山江村と森林組合などの林業事業体、南部森林管理署からなる組織体で昨年度から林野庁の補助を受け展開をしているところ。高度な森林データを活用し、儲かる林業を模索しているところであり、この仕組みがうまくできていけば将来的には球磨川流域全体で展開していければという思いがある。現時点では、まずは林野庁事業をしっかりと進めていきたいところ。そのような状況下であることから、現時点では2次ビジョン案への計上は見送りとしている。今後、2年後を目途に計上について検討をできたらと考えている。</p> |
| 会長 | ただいま説明のあった林業部会案についてご意見、ご質問をお願いしたい。 |

| | |
|------|--|
| 会長 | <p>林業部会については計上なしということであるが、林業が人吉球磨の地域産業においてある程度のウェイトを占めている状況であるならば、やはり事業はあげるべきではないかと思う。前向きに検討いただきたい。</p> |
| 会長 | <p>続いて、消費生活部会案と農業部会案については、部会欠席のため事務局から説明をお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>事務局から、消費生活部会と農業部会案の2次ビジョン案について説明をさせていただきます。</p> <p>消費生活部会の2次ビジョン案案については事業名とも変更はなく、継続で計上を行っている。成果指標を、より成果を測ることができる指標に修正をしている。事業費は、多良木町分を未定表記しているが、多良木町は現時点では相談員を別途配置しているため負担金としては発生しない状況である。次年度以降も相談体制の相互乗り入れを継続するかどうかは現時点では未確定であることから未定の表記としているが、今月末に町村担当課長会議を開き、その中で方向性がある程度示される状況にある。</p> <p>農業部会の2次ビジョン案については、1次ビジョンの「水田営農（普通作）の推進」、「野菜の安定生産」、「花き生産振興」、「畜産経営の推進」の4事業を統合し、「農業生産物（水田・畑作・畜産）振興事業」として計上、1次ビジョンの「果樹生産振興」、「地域特産物産地づくり支援」を統合して、「地域特産物産地づくり事業（葉たばこ、薬草、クリ等）」として計上、担い手育成事業とあわせ3事業で計上を行っている。「農業生産物（水田・畑作・畜産）振興事業」の成果指標KPIの設定については、1次ビジョンにおけるKPIをそのまま使用し、目標値は市町村別人口の推移でも減少の一途をたどる状況にあることから、まずは現状維持を基本としつつプラスアルファの目標値を設定。事業費は本年度の取組みを予算ベースで、各市町村分を積み上げる形で令和2年度の事業費として概算計上としている。地域特産物産地づくり（葉たばこ・薬草・クリ等）、担い手育成事業とも、成果目標KPIの設定、目標値、事業費についての考え方は、先ほどと同様。担い手育成事業については最重要項目として、担い手不足の解消と育成強化を1次ビジョンに引き続き行う。</p> |
| 会長 | <p>ただいま説明のあった消費生活部会、農業部会についてのご意見、ご質問をいただきたい。本日部会欠席のため回答については後日回答とさせていただきます。</p> |
| 中村委員 | <p>地域特産物産地づくり事業(葉たばこ、薬草、クリ等)の事業名称について、1次ビジョンでは、事業名に「お茶」が入っていたが2次ビジョンでは抜いてあるその理由は何</p> |

| | |
|------|--|
| | か。お茶は特産ではないという理由で外してあるのか。 |
| 農業部会 | <p>※後日回答内容※</p> <p>事業名については、地域特産物として頭出しをする作物のみを振興するものではない。1次ビジョンにあった(茶)は人吉球磨地域においては、県内でも4割を占める産地であること、しかも歴史も古く、なくてはならない主要作物であることに変わりないところ。今年2月には、製茶販売店や料理研究家、熊本県立大学生などが参加する「お茶ツアー」なども企画され、また健康にも非常に良いことから、あらゆるものに応用ができる特殊な作物であり振興も十分に図られてきている。今後も今まで以上に支援を行っていく予定である。一方、今回加わった(栗)については、熊本県は全国2位の栗産地であり、中でも近年、人吉球磨地域は県内最大の産地を誇ってきている。H30年度には、人吉球磨地域として「球磨栗」の商標登録がなされ、また山江村においては、独自に「やまえ栗」として数々の商品開発、また人吉市においても昨年度より(球磨栗)を使った「くまろんフェア」のイベント等がなされ、作付経営体数及び面積増からみても今一番熱い農産物と思われる。このことから今回(クリ)という頭出しをさせていただいたところである。お茶の振興、栗の振興の支援に差を必然としてつけるつもりはなく、「定住自立圏の農業部会」としては、基本的に両者ともに必要な支援を行っていくところである。</p> |
| 会長 | 消費生活部会については、国の補助が終了するというのは決まっているので、いかに圏域で相談員を確保していくのが喫緊の課題である。県が新たなフレームを作ろうとしているので、そういったものに積極的に参加して検討をしていただきたい。 |
| 会長 | それでは全体を通じてご意見、ご質問はないか。 |
| 溝下委員 | 文化財について、秋は相良三十三観音めぐりのイベントで一般公開をやっていただいているが、できれば古社寺についても相良三十三観音巡りに合わせて一斉公開を検討してもらいたい。また、多良木町で豊臣秀吉の古文書が見つかったが、圏域でも個人所有の古文書等がたくさんあるので、広域的な資料の調査や保存、収蔵して公開していくというような、県内では天草が進んでいるので、圏域においてもそういう事をお考えいただきたい。 |
| 文化部会 | ご指摘いただいた内容を部会で検討させていただく。 |
| 会長 | 他にご意見はないか。 |
| 各委員 | (意見なし) |

| | |
|-----|---|
| 会長 | <p>それでは、本日の議題についての審議は全て終了となるので事務局へお返しする。</p> |
| 事務局 | <p>6 その他</p> <p>今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月・・・圏域の首長会議にて審議 ・ 12月・・・パブリックコメント実施 ・ 令和2年1月・・・最終的な2次ビジョン案についてビジョン懇談会審議 <p>7 閉会</p> |